オーストラリア

岩波写眞文庫 64

岩波写眞文庫64 オーストラリア

編集 岩波書店編集部 岩波映画製作所
写眞提供 オーストラリア大使館

はじめに

日本人は、あまりにもオーストラリアを知らなかった。知らぬままに、第二次大戦中はオーストラリアを「大東亜」の一部くらいに考えたり戦後はまた、対日理事会のオーストラリア代表の氣骨ある卓論に一驚したりした。私たちは、いまにして、オーストラリアが専制の國から自由の國に、堂々と歩んできた偉大な事実に目をみはらねばならない。海外知識といえば、西欧かアメリカのみを対象としがちだった風も、反省せねばなるまい。オーストラリアは美しい國である。しかし私たちをここにひきつけるのは、単なる好奇心であってはなるまい。編集上うけた駐日オーストラリア連邦大使館の援助は大きい。特に本文の大半を執筆され、写眞を御世話下さったスタッフの方々には、読者とともに感謝したい。

目次

定價 100円 1952年6月10日發行 發行者 岩波雄二郎 印刷者 米屋勇 印刷所 東京都港区芝浦町2ノ1 半七写真印刷工業株式会社 製本所 永井製本所 發行所 東京都千代田区神田一ッ橋2ノ3 株式会社岩波書店

オーストラリア連邦の地図

航路
鉄道（幹線）（その他）
山脈
都市 ◎（連邦首都） ○太字は州首都 ●

印度洋
ティモル海
珊瑚海
タスマン海
西オーストラリア州
北部地方
クインスランド州
南オーストラリア州
ニューサウスウェルス州
ヴィクトリア州
大サンディー砂漠
大ヴィクトリア砂漠
大オーストラリア湾
カーペンタリア湾
南回帰線
パース
ダーウィン
ブリスベン
シドニー
キャンベラ
メルボルン
アデレード
タスマニア島
ホバート
バス海峡
トレス海峡

オーストラリアと大英連邦　オーストラリアは矛盾の國である。地質学上からいえば、その表面の地質の浸蝕——最高の山といえども七千フィートをこえる程度にすぎない。世界の他の大陸や大きな島の大部分は、はるかに高い山々をもつ——によって明らかなように、世界でもっとも古い大陸である。しかし、歴史上からすれば、ニュージーランドとともに英連邦中でもっとも若い一員であり、また、最近にいたって独立を回復したアジアの諸國家をのぞけば、世界でもっとも若い國家の一つである。このように、歴史的には新しく若い國であるけれども政治的には世界でもっとも進歩した國の一つである。オーストラリアには、一七八八年はじめて移民が行われたのであり、それは植民地アメリカが独立し、イギリスが、本國の刑務所にあふれた受刑者の、流刑の地をどこか他の場所にもとめねばならなくなった時にはじまった。しかし、オーストラリアを、受刑者の本拠、その開拓地だといってこだわりをもつのは、当を得ていない。イギリスからオーストラリアに送られた多くの人々は、その当時の苛酷な法律の犠牲者であった。またその中には、政治上の意見が容れられず、流刑の厄に遭った人々もあった。指導的な羊毛生産國としてのオーストラリア開発の基礎は、その流刑者の時代にきずかれたのであって、

①J・ウォリス（19世紀前半）作，ニューキャッスルの土人舞踏．②J・グローヴァー(1767—1849)作，タスマニアの收穫時．③J・ローパー（19世紀中頃）作，アララトの金鉱掘り．④S・S・ギル（1818—1880）作，アデレイドを出発するスタート大陸横断隊．⑤T・ロバート(1856—1931）作，メルボルンのバーク街．⑥シドニー港デニスン要塞．1841年から16年かかって築かれた歴史的要塞．

それは、植民地守備隊の一將校であったジョン・マッカーサーが、ニュー・サウス・ウエルスに、メリノ種の羊を輸入した時にはじまった。しかし、眞の開発は、自由植民が奬励された一八二〇年頃からのことで、とくに一八五一年、金の発見後、移民はイギリスからオーストラリア植民地へと殺到しはじめたのである。こうして、シドニー、メルボルン、ブリスベーン、アデレイド、ホバート等主要都市を中心に、別箇に発展をとげた諸植民地は、今からわずか五一年前の一九〇一年に、はじめてオーストラリア連邦としてしられる現在の連邦國家に統合されるにいたった。その時以來、オーストラリアは英連邦の一自治國として発展してきたが、母國イギリスとの関係は、英連邦中もっとも強い。（たとえば大部分のオーストラリア人は、イギリスを見たことのない場合でも、そこを訪れることを「故郷に帰る」といいあっている。）こうしたつながりは、政治的、人種的、文化的、経済的なものである。

政治的関係は漠としたもので、正確に定義するのは困難であるが、海のかなたの元首であり、英連邦の主であるイギリス女王に、忠誠を共にするということに基づいている。政治機構においては、オーストラリアは全く独立し、場合によってはイギリスの政策に一致しない行動をとりうるし、事実しばしばそうしている。しかし経済事情もあって、オーストラリアの独立は、イギリスからの離反というより、國民としての成長、英連邦へのつよい責任の分担として現れるものといえよう。英連邦は、期せずしてこの困難な時代に、権力分散の値うちを知ったということになる。人種的には、國民の九〇パーセント以上が英國系であり、したがって文化的には完全に英國の系統をひいている。経済的にも原料生産國たるオーストラリアと、機械、車輛、船舶等の製造國たるイギリスとの依存関係は今もなお強い。

⑦1845年，キャンベラに初めて移住した牧師により建てられたイングランド派教会．⑧1854年，約 5,000の金鉱夫たちが当局の不正に抗してユーリカの丘にたてこもった．彼らは間もなく敗れたがこれを機に不正は改められ，鉱夫の指導者レイラーはその後30年以上議員に当選しつづけた．國内で唯一の戦場を記念して戦死者名を刻んだ碑が建っている．⑨1902年メルボルンの市政官になったリンリスゴー卿の像と，プリンス・ヘンリー病院のあるセント・キルダ通り．

政治　前にのべたように、オーストラリアは、はじめはイギリスから別箇に移住してきた人々により、六つの都市を中心にする六つの植民地として発達した。一九世紀の後半の、政治的思想の影響をうけて（イギリスはアメリカ独立戰爭の体験に学んだ）、独立自治植民地となった。もともと、東岸の諸植民地と二千マイルの沙漠でへだてられている西オーストラリア、パースのごときは、ほとんど無関係であった。

しかし、同じ人種によってできた単一の大陸として、オーストラリアは一種の連邦の形に結びつき、各植民地は合併しなければならないということが先見の明ある人にあきらかになった。憲法が起草され、ニュー・サウス・ウエルス、クインスランド、南オーストラリア、タスマニア（南オーストラリアに属す）、ヴィクトリア、西オーストラリアの諸州が、連邦の中央政府に國防に関するある必要な権限、外交関係、通信と課税についての権限を與え、一方各地方は州権すなわち商業、農業、警察、保健、および、ある種の税に関する権利を留保した。この責任分割から、さまざまな問題が今でもおこり、法廷で論議されるが、その最近の一例は、連邦銀行に銀行業務を集中しようとする中央政府の決定に対して争ったことである。

オーストラリアの政治的発展史上、その次の劃期的な事件は、英連合王國の議会により、一九二六年ウエストミンスター法令が成立したことである。これによって、英連邦の各自治領は完全な独立を得たのである。（法令は、連合王國の議会は、いずれの自治領に関しても、そこの承認なしに法律を定めることはできないと決定したのである。）爾來オーストラリアは、英連邦内のみならず、世界の問題について影響力を増してきた。

キャンベラ

オーストラリア連邦の首府をどこにおくかは，大問題だった ニュー・サウス・ウエルス州にきまると，都市計画が世界に公募された．当選者はシカゴの都市計画家．かくて首府キャンベラは，町のかけがえない丘のスロープに，モロングロ河の谷に臨んでつくられた．人口はいまも２万にみたず，首府というより一田園都市の景観．官廰区・学校区・工場区・住宅区などをめぐる街路は環状．

左に公園，中央には卵形のグランドをもつ小学校．田園住宅区は晝なお靜か．“バラの花園”がめぐる連邦議会．内に乱闘をみず，外に大デモもない．人口２万の首府は安穏である．並木のユーカリ樹に美しい花が咲く．数多くの樹木は首府をおおい街全体は公園のようだ．

いまや、オーストラリア代表は、國際連合機構においても活躍ぶりをみせており、弱小國援助につくすことも屢〻である。英連邦新自治領としての國家的発展とともに、國内政治も発展し、労働者の権利が强調された。イギリスのチャーチスト（一八四〇年ころの進歩的な労働運動家たち）のような、母國ですでに政治上の権利のために闘った経驗のある人々が、一九世紀後半には、オーストラリアへやってきた。そして大地主階級の力や影響と対抗するようになった。これら両者の争いから、現在のオーストラリアに存在する諸政治勢力は、発達をみたのである。すなわち、政治勢力は、いつの選挙にもつねに労働党と保守党との間で、伯仲しており、選挙ごとに両党の間を権力があっちゆき、こっちゆきしている。（保守党は二つあり、自由党は都市の富裕階級を代表し、農民党は地主階級を代表している。）最近の選挙では、自由党が農民党の後だてをえて、それまで政権をとっていた労働党から、ふたたび政権をとりもどした。この自由・農民両党連立内閣は、一九五四年の次期総選挙まで政権を維持するであろう。

はげしい労働運動の歴史があり、労働党が産業社会化を政策としてきたにも拘らず、オーストラリアは本質的には依然資本主義國である。労働党は、他國の進歩的勢力と同様、與党となるや、野党時代の急進性を失った。容易に変革できぬものもあるし、又既得利益というものは動かし難いものである。しかし闘いはなおつづいており、しかも資本主義組織には恒久的改造の多くの兆しも現れている。他の國同様オーストラリアにおいても、社会の究極の機構は、社会主義的基礎に立つか資本主義的基礎に立つかというより、その混交の上に立つのであろうか。

↑オーストラリア連邦の議会は，123名の下院と，60名の上院とから成り，下院の多数を占めた党が內閣をつくる．これは1946年の議会開院式．場所は上院議場．両院議員とその夫人たちまで集って，総督の開院演説をきいている．右手壇上に坐り，原稿を読むのは総督．その左は上院議長．左右の起立者は総督副官や廷丁．カツラをかぶっているのは議会管理の責任者たち．左方の，カツラをかぶった三人にかこまれて坐るのは下院の議長．そのそばには，議会の権威を象徴するメイス（権標）が捧持されている．正面の低い壇には閣僚たち，後には傍聴者が立っている．議員はすべて自席から演説する．

↖

キャンベラの連邦議会で，対日講和をめぐって会議する，大英連邦の代表者たち．

←陸軍大学の卒業閲兵式．総督が閲兵中．

シドニーと最初の移民：一七八八年、最初の移民とともに、アーサー・フィリップ海軍大佐が上陸したシドニーは、オーストラリアにおける最初の植民地であった。オーストラリアの存在は、二世紀も前から世に知られてはいたものの、この國への関心が眞に深まったのは、一七七〇年ジョセフ・クックが、東海岸に上陸して以來のことであった。それ以前の來訪者たちは、上陸した各地でその酷熱に驚き、また絶望的な自然條件にも一驚を喫したのである。しかしながら、シドニーのすぐ南に位するボタニー灣に上陸したクック船長は、この地が、さして惡くはないことをみいだし、彼と、同行者の有名な植物学者ジョセフ・バンクス卿とは、イギリス政府へ熱情にあふれる報告を送った。新しく独立したアメリカの植民地が、イギリスからの受刑者を閉め出してから、イギリス政府はその超満員の刑務所のために新しいハケロをさがす苦境に立ちいたったので、その時有望なハケロとしてオーストラリアを利用することになったのは当然のことであった。かくのごときは、今や英連邦の有力な一員となっているオーストラリア國家の門出としては、実に不吉なことであった。

世界最良の自然港の一つであるシドニーの周辺にあって、植民地としての好條件とさまで惡くない氣候とにめぐまれながらも植民最初の数年はいちじるしい苦難に満ち、一九世紀のはじめ自由移民が開始されてはじめて、植民地の開発は発展をみた。シドニーには、港の附近に、いまなお古い砂岩の建物が点在して、受刑者の植民地としての歴史の跡をとどめている。それらの建物こそ、受刑者たちの手でこの周辺から運ばれてきた岩石でつくられたものなのである。

シ ド ニ ー

最初の植民地建設船團は859 人の人と 6頭の牛，12頭の豚，7頭の馬，29頭の羊，3年分の食糧をつんできた．やっとみつけた静かな湾に，こんにち，ホンコン，リオデジャネロとともに，世界三大名港のひとつといわれるシドニーがうまれた．

➡ 廣い湾内は波も穏やかだ．タコの足のように突き出た半島の群が自然の防波堤．その根もとをむすぶ ⬅ ように，名橋ハーバー・ブリッジがかかっている．長さ 1,650 ft．建造に 7 年かかった．下を 2万トンの船が悠々と出入する．

⬅ その奥の河岸にあるピルモント橋．22平方マイルもある美しい港内を，自由自在に渡舟(フェーリー)が走り，上陸すると，電車が環状に市内をめぐる．港に入る大型船は，年に約4,000．

⬅ 港の一角ダーリング・ハーバーに大ドックがある．昔フィリップの船團は英國からシドニーまで 8ヵ月かかった．今は約6週間．

年々 1,200 万トンの物資がシドニー港を出入する．人口は 150 万近く，連邦第一，南半球第二の都市．海路だけでなく，欧米亜各地と航路でむすばれ，貿易，経済の大中心であると同時に，古い歴史をもつ文化都市でもある．

⇒ 市内のウインヤード公園．シドニーには，大規模で有名な動物園や植物園，傳統をほこる大学もある．

↑ 空からみたシドニー風景．

↖ 湾に臨み，庭球場やプールをもつ上流住宅が並ぶ．

↖ 連邦統一記念日（1月）のヨット競争．季節はちょうど日本の夏にあたる．

← コロボリーという土人の夜間ダンスをかたどったバレーの舞台．この國独自の藝術はまだ新らしい．

ニュー・サウス・ウェルス州

大分水嶺山脈は大陸の東側を南北に走り，その南方はオーストラリアアルプスに続く．オーストラリアアルプスはもと海とすれすれの高さだった水成岩盤が，地殻の変動で隆起したものという．処処に侵蝕の発達した岩山が見える．1813 年，ブラクスランド一行がここを征服し，はじめてその向うに廣大な平原を発見した．一行は「イスラエルの民がカナンの地をみいだした」とよろこんだ．

↗ シドニー西部の，ブルー山脈の一部，山彦（エコー・ポイント）峠とよぶ見晴台．→ ウェントウワースの瀑布のあるコシヤスコ山附近の峡谷．↑ アメリカの TVA 以上の成果をめざすスノーウィ山の峡谷の開拓．← ← ← 電力・灌漑は勿論，將來は原子力工業にも利用するという．

ニュー・サウス・ウエルス州は，もっとも産業の発達した州．とくにシドニー，ニューカスルを中心とする地域は，人口がもっとも集中して，工業生産の中心となっている．

→シドニーの北 70 マイル，ニューカスルのちかく．ニューカスルは煤煙の街．後背地の鉄や石炭を利用し重工業都市に発展した．

→太平洋岸をさらに北上すると，州の北端，もはやクインスランド州との境近くクラーレンス河が海にそそぐ．河口の町はヤンバー．流はゆたかな冲積層をつくり，この沿岸に酪農，砂糖，林業等の産業をさかんにしている．

↖クラーレンス河沿岸の砂糖園．収穫に忙しいころ．

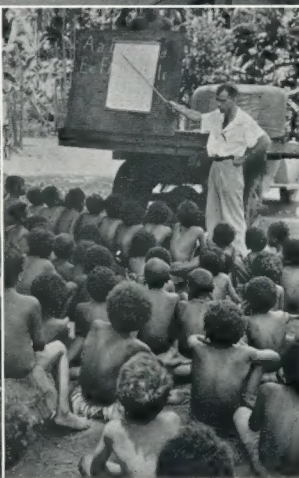
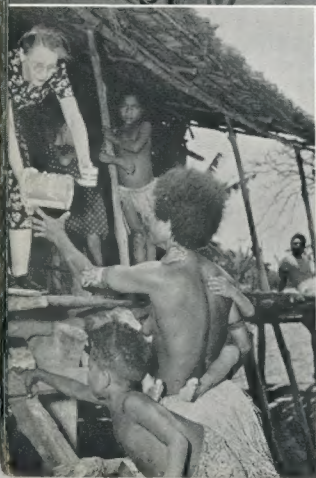
↖クラーレンスの支流，ニンボイダ河の水力発電所．

↖クラーレンス河の漁業．

↑ニュー・サウス・ウエルス南方で米作を始めた農夫

オーストラリア大陸　オーストラリアはいわばとり残された大陸である。中生代の頃、アジアと陸続きであったこの土地は、新生代の初め（一億年程前）、それまでに渡って來ていた生物を閉じこめて孤立した。それ以來主流からはずれた独特な進化の歩みが続いた。そこには三百種以上にもなるさまざまなユーカリの木が生い茂り、他の大陸のものとは全く縁遠い動物が住んでいる。クマ、ウサギ、ネズミなどに形も生活もよく似た獣たちが住んでいるがこれらは皆カンガルーの同類なのである。原住民も進歩の流れから隔てられていた。発見された当時には弓も矢も耕作も知らず、家畜も犬しかもっていなかった。現在でも彼等は定住地をもたない原始的な生活をつづけ、人類の古い生活形態を今につたえている。しかし、新大陸と交渉をもちだしてから、オーストラリアの獸や原住民は次第に滅亡に瀕してきている。新大陸からつれてこられたウサギが猛烈な勢いで繁殖し、植物に大害を及ぼすようになったのにくらべ、カンガルー、ウォラビー、コアラなどが廣い地域にわたって絶滅したりした。発見当時、約百万（勿論正確なことはわからない。）といわれた原住民も現在五万を数えるにすぎない。旧大陸が維持してきていた生物界のバランスがくずれたためであろう。このとり残された大陸は面積二、九七四、五八一平方マイル、ほぼアメリカ合衆國と同じ廣さをもち、熱帯から亜寒帯にわたっている。南半球にあるオーストラリアの季節は、日本とは正反対になっており、氣候の点では、一般に乾燥していて雨も少く健康的である。沿岸地帯は肥沃で農業に適し、山脈にかこまれた中央平地は草原で、主に牧畜が行われているが、その西にひろがる廣大な西部平原は不毛で、沙漠か半沙漠地帯である。

原住民・動植物

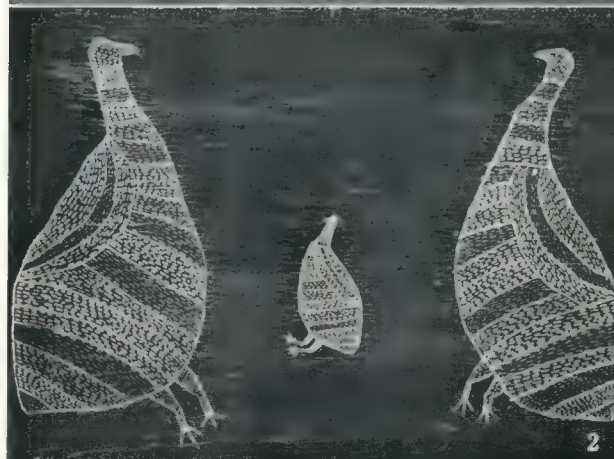
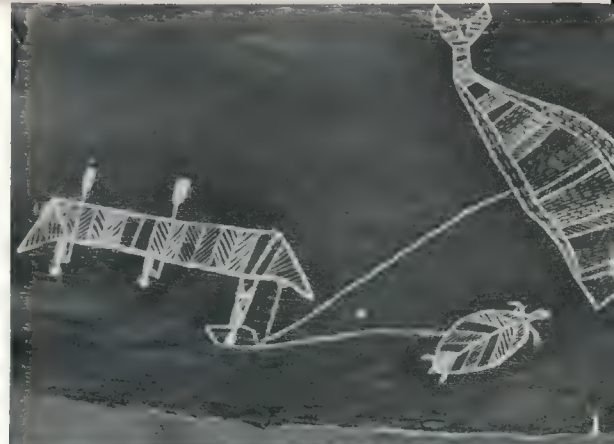
3万の原住民混血兒と数万（正確な数は不明）の純血原住民は問題が多い．原住民は，遊牧民的生活をしているので，敎化は非常に困難であるという．

北部で政府はイギリス國教会と協力して，混血兒教育を行っている．

→ これは聖フランシス敎会で敎育されている混血兒たち．

↑ 原住民の子供．原住民は白人にやとわれても，また原始的な部落に帰ってしまうので，敎育する機会がない．最近小学敎育がはじまったのは劃期的．

↖ 青年女子寮．ここには女子34人，少年21人が預けられ敎育をうけている．

↘ ダーウィン市附近にある小学校．北部各地の原住民の子を集めている．

← 熱帯にちらばる小島へも，宣敎師の手で，トラック巡回学校や栄養物の配給．

近年マウントフォード氏によって蒐集された原住民の絵．①漁（ジュゴンをとっている），②鳥（マグソダカという鳥），③傳說（ユアランガとよぶ大蛇が，小屋にいる姉妹とその子たちを次々と呑みこんで逃げてゆく有樣）．

↑ニューギニアにちかい島に住む土人．コプラをとって白人に賣りにゆく．

④カンガルーの親子．⑤羽をひろげて雌に誇示する琴鳥．⑥アヒルのような嘴．けもののような柔い毛．水かきのついた脚．カモノハシは，卵をうみしかもその仔を乳でそだてる珍しい両棲哺乳類．⑦コアラとよばれる袋熊．カンガルー同樣，袋で仔を育てる．ユーカリの樹上にすみ，葉をたべる．⑧翼のない鳥，ダチョウと同じ仲間であるエミュ．

ブラウン　ボロニア

南東端の湿地によく見られ，オーストラリア人に愛されている植物．

ロック　リリー

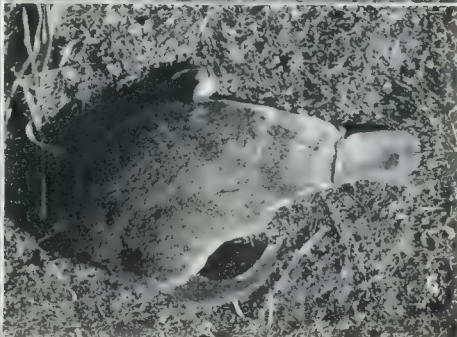
東部の海岸地方に多い蘭の一種で淡い黄色や白色の花をつける．

（以下植物名はオーストラリア人の呼称であって，学名ではない．）

プルテニア　スティプラーリス

エニシダに近く，黄色やこいオレンジ色の花をつける．6フィート位の植物．

スプリング　ワックス　フラワー

ボロニアに近い植物で，8〜9月頃ピンク色のかわいらしい花をつける灌木．

ジャイアント　マウンテン　アッシュ

ユーカリの一種で，300フィート以上もあり，オーストラリアでは一番高く，世界では二番目に高い種類．

モットルカーの花

ユーカリの一種で西部高原の砂地に育つ．10〜15フィート程．花の直径は3〜4インチ，赤や深紅色の大きな雄しべがある．

ラウンド・リーフド　スノー　ガム

ユーカリの一種で，20フィート程の木．青みをおびた円い葉が完全に茎をかこんでいる．南東部にそだつ

モットルカーの実

ユーカリ類の中では一番大きい実をつける．直径2〜2.5インチ．

その後の開発　アーサー・フィリップ初代総督にひきいられた人たちがシドニーに入植して後、一八〇四年タスマニア島のホバートに、一八二四年ブリスベーンに、一八三〇年パースに、一八三四年メルボルンに、一八三六年アデレイドに、それぞれ植民地が開かれていった。農耕、酪農業、牧羊などに適した地域にある、これらの都市の周辺には、しばらくの間にかなりの農業植民地が成長していった。だが、一九世紀の前半は、植民地の発展もまだまだ緩慢をきわめていた。

シドニーを中心とする最初の植民地が、大分水山脈をこして向う側へ拡張されることは容易でなかった。大分水山脈は、高くはないが、嶮阻に行手をはばんでいたのである。この山脈の障壁を突破して初めて、のちに世界第一の座についた緬羊王國の前途は開かれたのである。やがて、刑期をおわった流刑者たちや、新たに本國から來た自由移民たちが、山脈をこえた彼方にひろがるニュー・サウス・ウエルスの廣大な平原に、ジョン・マッカーサーによって輸入されたメリノ種の羊を飼育しはじめた。彼は植民地の守備隊の士官を退職後、牧畜をはじめ、今日のオーストラリア牧羊業の基礎をつくった人である。全植民地の一般的な発展は、一八五一年メルボルンの北方数マイルの山地に金が発見され、いわゆるゴールド・ラッシュが到來したことで、大いに促進された。一八五〇年には五〇万たらずだった人口も、数年で百万をこえ二百万となった。オーストラリアの諸地方には、その後も小発見がひきつづき、それに従って賃金の安い中國人坑夫などもふえていった。そしてついに、一八九二年、西部にカルグーリの大金鉱が発見された。これこそ、ゴールド・ラッシュ以來二回目の大発見であった。

メ　ル　ボ　ル　ン

ヴィクトリア州の中心であるメルボルンは，ヤラ河の岸辺にのぞみ，1835年に建てられた．農業や畜産を主とする．1851年に，ゴールド・ラッシュの渦にまきこまれ，いまは人口132万．しかし落着いた，おだやかな街．

- バーク街とよぶ大通り．時計台のあるのは郵便局．
- 1マイルも並木のつづくコリンズ街のひろい歩道．
- 三方を川がめぐる有名な植物園．2万からのめずらしい植物が集っている．
- メルボルン駅に集中する郊外線．7輛編成の列車を110もさばく日がある．
- 自動車工場．5人に1台ずつ自動車をもつというこの國．今は自動車も輸入品よりも自國製が多い．

ヴィクトリア州

水の不足から，オーストラリアの農業を救ったのは掘抜井戸の偉力である．ヴィクトリア州の西北，マレー河の沿岸も，最近までほったらかしの沙漠だったが，調査の結果地下水の豊富さがわかり，たくさんの井戸がほられた．井戸とはいっても，1,000mからほらねばならぬ場所もある．大規模な灌漑は國家がすべて行い利用者は用水料をはらって農園をひらいてゆく．

↗ トラクターで種をまく農場主の父子と農夫．この農場は 1,400 エーカー(約 560 町歩)．この國の農業はみな大農式で巧みに牧畜業と結ばれている．
➡ 果樹園を切りひらく農夫．

⬇ 道標のたつ道路の一隅．
⬅ マレー河は41万平方マイルの平野をひらいている．南岸のミルドゥラに最初の灌漑中心地が作られた．

移民政策　前述のように、金の発見はイギリスのみならず、欧亜諸國からの移民の殺到を招いた。当時日本は、徳川幕府の鎖國政策のため、外界から閉鎖されていたが、中國人は当時から最大の海外進出者であって、金の発見とともにオーストラリアに流れこむ者も多数に上った。その後これらの中國人は、自然にも、またアジア人の入國制限によっても、減少したのであるが、今なお多数の中國人は、大都市周辺で小規模な農業に従っている。よくいわゆる「白濠主義」—すなわち永住を目的としてアジア人が入國することを排斥するということを見ききするが、事実は「白濠主義」などというものは存在しない。これは、時代おくれの週刊誌のモットーや、過去における若干の政党の綱領にこそとり入れられたことがあるが、政府の正式政策としてはけっしてとられたことがないものである。しかし過去の労働組合が、自ら得た生活水準を守るため、低賃金のアジア人労働者が大量移民してくるのに反対したことは事実である。これは経済的理由によるので、民族的排斥ではない。又奨府政策上、とくにイギリスとヨーロッパからの移民を歓迎していることも事実であるが、それは同一系統の人種で成りたち、同じような生活水準をもった社会の方が、調和した発展をとげる可能性が大きいという点を考慮するからである。オーストラリア人はアジアの人々に、しばしば國内少数民族の問題で紛争になやみ、時には母國と同じ人種であってさえこうした問題になやまされている事情から、オーストラリアのとっている方針も、理解してもらいたいと思っている。現にオーストラリアに学ぶアジア諸國の留学生はたくさんいるが、彼らは学校で何ら人種的差別を感じないという。過去の差別待遇はなくなっている。

鉱　　　　業

西部地方に金鉱が発見されたのは，オーストラリアの産業史上特筆すべき事件であった．19世紀末から20世紀初めにかけ，坑夫という坑夫が西部へ群り，19世紀半ばのヴィクトリア州を中心とするゴールド・ラッシュ以上の興奮がまきおこされた．今も連邦の金の½は，西部のゴールデン・マイルとよばれる地帯に産する．

→カルグーリ市にある最も重要な金鉱の一つ．附近は水に乏しいために，西

↑部の首都パースから350マイルの水道がかよう．

連邦の最重要鉱産物は銀と鉛だが，金や石炭も現在なお大切な資源である．

←ヴィクトリア州の褐炭露天掘．火力発電に利用．

←南部のワイヤラー附近の鉄鉱地帯．この國のまだ若い重工業を支えている．

←ヴィクトリア州ヤルールンの5万kw.火力発電所．

* メルボルンの東方，ヴィクトリア州の山間部には，数十年前のゴールド・ラッシュの夢のあとが，今は淋しく残っている．昔この辺で，ふとツルハシの先に掘りあてた金鉱のおかげで，一躍成金になった坑夫もいた．この山も一時は 8,000 人からの坑夫が住んでいたが，今は残るものわずか 80 人．金山から観光地に轉向して，僅に息をついている．

* 反対に，最近世界有数の鉱山に数えられるようになったブロークン・ヒル．銀，鉛，亜鉛を産し，世界に輸出する．このように大きい町がシドニーから 670 マイルも奥地に現れ，ここの坑夫は連邦中で最も高い賃金をとる．
* 同じ鉱山の精錬所全景．
* 同鉱山の亜鉛精錬所中庭．

近代工業と労働事情 オーストラリアの発展は、本來畜産と農業資源とによっていたが、過去三、四〇年間の非常な工業的発展の結果、今では南半球では指導的な工業國になっている。アメリカに比較できるような資源にこそめぐまれていないが、近代的工業生産に必要な大部分の基礎原料はほとんどもっており自國の需要をまかなうに足る資源の埋藏量を有している。平時では、自國に必要な一切の石炭、鉄鋼を生産しえたといってよいのであるが、戦後は、工業の発展がいちじるしく、そのため若干の必要品を輸入せざるをえない必要がある。

これらの事業の中、もっとも大きいのは、水力発電と灌漑計画で、前者は全國の電力供給を倍増し、後者は今まで降雨量不足のため役に立たなかった土地を、生産地にするのである。

工業の発展と並行して、オーストラリアは組織労働力を世界に明らかにした。適正労賃に対する労働者側の要求に刺戟されて世界ではじめての調停制度がつくられた。これで、賃金問題は調停裁判所によって、公平に経済事情を考慮の上、適正賃金水準を決定するようになったのである。

オーストラリアは、英連邦内ではじめて労働党政府をもった國であり、その代表は全員、すべての組織労働者の中から選ばれたのである。しかし、保守党たる自由党も、進歩党たる労働党も、ともにオーストラリアを世界でも進歩的な「社会福祉」の國家にすることを目標にして、社会共済、社会の利益を唱えているのである。

近年の工業の発達、鉄鋼・自動車・船舶・飛行機等の自給により、イギリスへの経済的依存の程度は少なくなった。ただし、羊毛や食料品の顧客としてこのイギリスには変りはない。

働　く　人

第一次大戦を契機に盛んになった工業部門は，しだいに多くの労働者を吸収しつつあるが，つねに労働力の不足を感じている．現在工業労働者は約80余万人，可能労働人口の約1/4を占めている．労働組合の組織や社会保障は早くから発達している．

ニューカスルの製鉄工場にはたらく炉前工たち．ニューカスルはオーストラリアのバーミンガムと称せられる製鉄の中心地．

農園の労働をやめ都会に出てきた車掌さん．週に14ポンドもらえるという．

レンガを窯につみあげている，シドニーのレンガ工．初めて労組をつくったのはレンガ工である．

硬貨を打抜く造幣廠の工員たち．造幣廠はメルボルンとパースとにある．

織物工の老人．主として女子や少年工が雇われる．

北部地方の肉牛の放牧

牧畜の発展　オーストラリアの農場及び牧場の開発は、何にもまして、降雨量のいかんにかかっている。大陸全体の三分の二までは、一年の降雨量二〇インチ以下で、あとの三分の一にいたっては、年一〇インチ以下である。これを日本の降雨量約八〇インチと比較してみれば、その事情がよく分るだろう。農業及び酪農業地帯は、主として大分水山脈と東海岸との間の、平均年間降雨量五〇—一〇〇インチの狹く長い地域、二〇—三〇インチのヴィクトリア州東南端、南オーストラリア州、それに二〇—四〇インチの西南地方、といったところである。

降雨量の少ない地方は、農業には適しない半面、牧畜には好適である。主としてクインスランドとニュー・サウス・ウエルスの中央平原は緬羊に、クインスランドの西部平原と北部地域、それとオーストラリア北西部とは大部分が家畜の飼育にあてられている。これら內陸地方が、いかなる発達をとげる可能性をもっているか、いろいろと研究されているが、水の欠乏から考えて、今日以上の人口を吸收することはできそうもなく、二〇—三〇平方マイルに、わずか一、二頭の家畜しか飼育できない。そしてたとえば一頭の牝牛は、東京や横浜ほどもある廣さの牧場を、毎日食べたり飲んだりするだけの草や塩沢（ソールトブッシ）をさがすのに、二、三マイルも歩かねばならないのである。はじめて冷藏船が英濠間を往復したのは一八八一年だった。それまで生肉の貨物を輸出するなど思いも及ばなかったオーストラリアではやっと肉牛を飼うことがもうけになるのを知ったのである。爾來、オーストラリアはイギリスの生肉供給所となった。今や內陸地方から港や驛まで、殺したての牛肉を運ぶ航空路の網さえ組織されている。

牧　　　　畜

國中の羊は1億3百万頭に上り，ニュー・サウス・ウエルス州に最も多い．飼い方には二つあり，ブロック・ユウといって，群をなして飼い，牧草を追って移動する方法と，ブリーダーといって，耕した土地に囲って飼い，種羊（たね）をとる方法とがある．ブリーダーを行うのは資力ある経営とされている．

→ メリノ種のブロック・ユウ．國中の羊の70％以上がメリノ種である．電氣で刈りとった羊毛．毛を刈るのは夏のはじめ．

↑ ←

← ニュー・サウス・ウエルスの北部をおそった洪水で，牧草を失った羊たちは，他の地方に移動してゆく．その移動を助けて飛行機からは乾草を落す．洪水は雨期（7〜12月）に時々ある現象．旱魃地帯から牧草のある地帯への移動はよく行われる．

- メルボルンの市場では，年に 450 万頭を越す羊が賣買されている．市は毎週火曜と木曜とに開かれ市政府が管理にあたる．
- 同じ市で，牛も年に35万頭以上賣買される．オーストラリアでは，日本の役牛にあたるものは全くない．みな肉牛である．
- 羊毛市場では，世界各國の商人が競爭する．ことに大胆な値をつけるのは流行の國フランスの商人．
- 馬も同樣．ブランビーとよぶ特産の荒駒だが，馴らせば立派な乗馬になる．
- 牛も日本のように家畜小屋には飼わない．この北部地方の一牧場でも 600 余頭が放し飼いされる．
- クインスランドにある放牧牛のための貯水池．日本のように 1 日に 200 ミリも雨のふるところはない．降っても，せいぜい 15ミリくらいであるからこうした貯水池がいる．

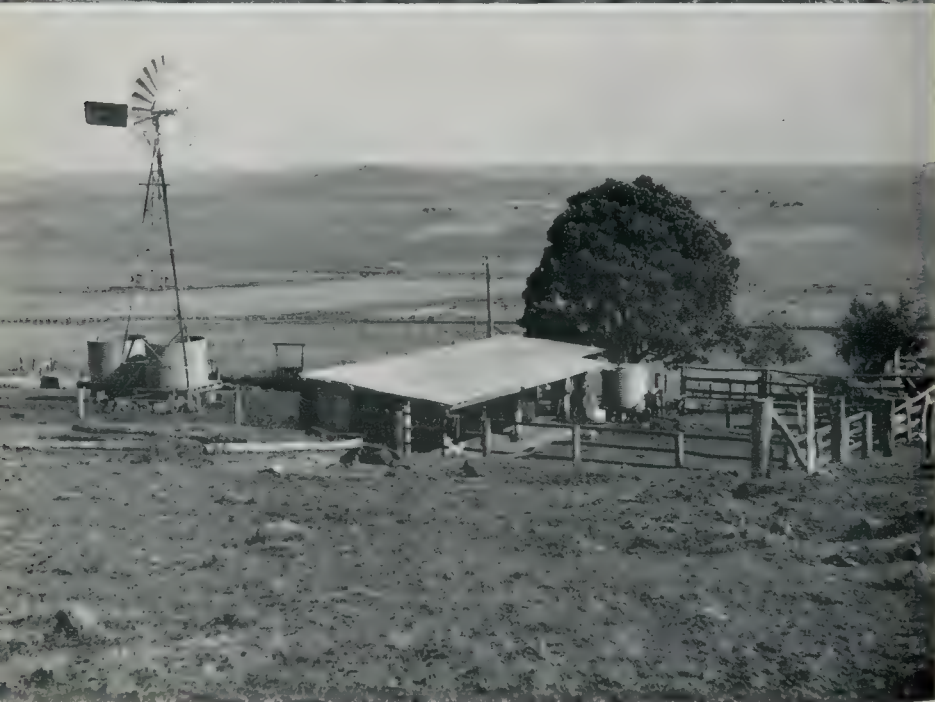
各州の歴史と現状　連邦の各州は、強い独立性をもっている。連邦の民主主義國としての歩みは、各州の自治権確立にその深い淵源をもっている。一八四〇年代に、チャーチストたちが手をつけたのも、州の政治の改革であった。その時以來、財産家や有力者が一人で選挙権を二票も三票もにぎっているというような不公平は改められたし、婦人の参政権も、州により一九世紀中から認められた。各州は、いまもそうした州の歴史を誇りとし、州のそれぞれ特色ある自治制度を守っている。

クインスランド州は、オーストラリアの東北部を占め、二番目に大きい州である。初期の開発がおくれたのは、南部諸州にくらべて氣候が不適だったのと、移民は南部の金の発見とそれに伴う繁栄につられて、北部へは來たがらなかったことによる。近年に至って、この州の潜在力は次第に明らかになってきた。せまい海岸地帯のゆたかな降雨量は、この地をもっともすばらしい農業と酪農の地帯にした。オーストラリアは、砂糖と熱帯果実の多くをこの海岸地帯に負うている。中央の内陸地方にには廣大な地域が存在するのであるが、これは水の不足のため農業には適しない。しかし、緬羊や家畜の飼育には向いている。また、最近ブリスベーンの北部の山地に、石炭が発見されたことは、南部諸州にくらべておくれていたクインスランドの工業的発展に、明るい未來の希望を與えている。

海岸地帯は熱帯と亜熱帯にまたがり、氣候はほぼ台湾程度であるが、内陸地方は、はなはだしく暑く、その上に、雨量は少なく、土地もまた不毛で、人間の住むのには適していない。かつて州全体にサボテンがはびこっていたが、サボテンを食う昆虫を繁殖させることにより現在は一掃された。

ブリスベーン

人口118万のクインスランド州には，熱帯性の果物や砂糖キビの農園が多い．州の南東端にある首都ブリスベーンは，人口43万．寒さをしらない快適な都市として知られる．

➡ 河に臨むブリスベーン港．
⬆ 目ぬきの大通り．クイーン・ストリートとよぶ．
⬋ 右の手前が市場(いちば)，その後が停車場．左手には商業のさかんな街がつづく．
⬅ ブリスベーンのビジネス・センター．ブリスベーン河にかかるストーリイ橋が市の南北をつなぐ．
⬅ アンザック公園の晝休みの光景．左右の建物は大きな役所の一部．正面は第一次大戦の記念博物館．アンザック (Ansac) とは，大戦に参加したオーストラリア・ニュージーランド連合軍團の略称である．

クインスランド州

クインスランド州には，首都附近を遠くはなれて地方の中心都市が点在する．なかでもツーウンバは，ダーリング・ダウンとよぶ沃野の中心．最も美しい地方小都市の代表とされる．ダーリング・ダウンは小麦の豊富な地方．牧畜も盛んなので，ツーウンバには酪農工業もおこなわれている．おだやかな市街の雰囲氣．人口は約33,000人という．

市をはなれると，典型的な農村の村落風景がみられる．この辺は小麦耕作と，多角的な農業経営がうまく組合わされている．

砂糖の町とよばれるイニイスフェイル附近．この町の背後にはアサートン台地とよぶ海抜3,000 ft. の農業地帯がひろがる．

ツーウンバ郊外の乳しぼり場．風車を動力にする．

↑ クインスランド州や，連邦領の島々にみのるパイ
→ ン・アップル．ヤシの木．
→ 北部やクインスランドの内陸では，通風のよいこんな様式の家を使う．このかんびりした建物は，北部地方，アデレイド河の田舎の警察．階下はガレージに利用されている．

ヨーロッパより廣い面積(日本の14倍)に，せいぜい東京都くらいの人口がちらばっているのだから せまい國では考えられない生活の仕組みが生れる．ラジオで医者の診断をう
→ け，重病人は飛行機で入院さす．警察は飛行機なしには所管内が見廻れな
← いし，町から遠くに住む子供は，ラジオで顔もしらぬ先生の講義をうける．

南オーストラリア州は、もとは北から南へかけてオーストラリア大陸の中央地域の全体を占めていた。それが一九〇一年、連邦制が実施された際に、現在の南オーストラリア州と北部地方とにわかれた。そして北部地方は州としての性格をもたず、連邦の中央政府によって管轄されることになったのである。

南オーストラリア州の南部は、地中海式の温和な氣候にめぐまれており、ゆたかな農産物やブドウ酒の生産地である。しかしここから北上すると、それにしたがって風土は荒れ、貧弱な牧草地から沙漠へと変ってゆく。

この州は、オーストラリアで第一の鉄山をもっているが、また最近はウラニウム鉱も発見された。この鉱を、最善に利用するならば、動力発展の面で、ほとんど無限の力を発揮することができると予想されている。ウラニウム鉱の開発を奨励するため連邦政府は、二五トンまでの鉱脈を発見したものには千ポンドそれ以上の含有量をもった鉱脈を発見したものには二千ポンドの奨励金を与えている。千ポンドといえば、三年や四年は樂にくらせるお金である。

この州の現在の人口は、七〇万余、首都のアデレイドに四一万五千人が集っている。産業だけでなく、文化の中心として知られているこの市には、たくさんの立派な教会や、学校がある。とくにアデレイド大学は、傳統をほこる英本國のオクスフォード大学にもたとえられている。現在の在学生は、約四千九百人ほどで、シドニーやメルボルンの大学より人数は少ないが、それらの両大学と並んで、一九世紀からの歴史をもっている。また東部より発展がおくれたにもかかわらず一八九四年、この州では他州に先んじて婦人選挙権が認められた。

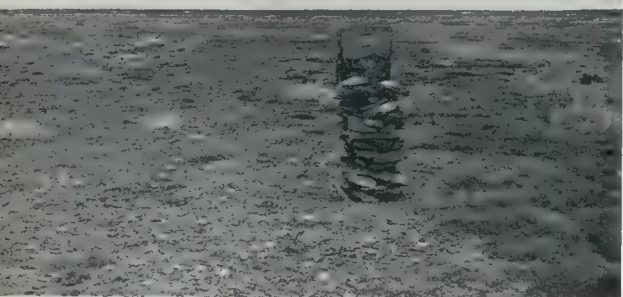
アデレイド

南オーストラリア州の首都アデレイドは，首府のキャンベラなどと同様，理想的な設計のもとにつくられた都市．公園や緑地に富み，整然と道路を区切った中心街の外側を，緑地がめぐって，そこから郊外になる．

キングウイリアム街は首都の中心．

郊外の丘には果樹が美しい花を咲かす．春の日の夕ぐれ，人々は並木の影をふんで住宅地へと帰る．

郊外の小農園．小さいといっても，200～300エーカーくらいの規模がふつうである．個人で新しく農園をひらく場合は，國家の補助もあり，地方銀行では小額の金融も扱う．

南オーストラリア州で海に入るマレー河の下流の風景．河がわりに浅いので，写眞のようにつまれた木材が集散地に向う．

南アーストラリア州

➡ 長さ 1,520 マイルに及びオーストラリア第一の大河たるマレー河は，オーストラリアアルプスの山奥にその源を発している．19 世紀には，航行が河の大きな利用法であったが今はそれ以上に灌漑や水力利用が重視されている．

⬅ 南部から西部へかけての平野を走る鉄路．300 マイルを一直線で走る点では世界中他に例のない線．

⬅ 見渡すかぎり一本の木もないウーメラ地方．探検隊の建てた石塚のみ残る．

⬅ その荒地の南部に移住した開拓村．2 週間に 1 回茶と砂糖を供給する汽車が到着し，歓声があがる．この附近には原子力工業のための開発が，最近さかんに行われてきている．

⬆ 掘抜井戸から塩水の出ることもある．こういう井戸は，家畜の飲料によい．

西オーストラリア州は、連邦最大の州で、全大陸の総面積二、九七四、五八一平方マイルのうち、九七五、九二〇平方マイルの地域を占める。フランスやドイツにくらべたら数倍も廣いこの州は、しかも孤兒のような地方であった。東部諸州からは、二千マイルの沙漠によってへだてられ、それらの州の繁栄とは別箇に発展をとげてきた。西オーストラリアの人々は、ふかくこの孤立の存在を意識して、ある時代には、英連邦の一自治領として、東部諸州とは別の國を形成しようと望んだほどであった。一九世紀の終り近くまで、西部地方は、イギリスの植民地ではあっても、オーストラリアの一地方という感じは全くなかった。ところが、ゴールド・ラッシュが、この関係をも打ちやぶったといってよい。この州の初期の開発はおそかったが、一九世紀末、中央沙漠の一端カルグーリに金が発見されて、東部諸州、ことに、ヴィクトリア州の坑夫や投機家が流れこんだ。そして、東部諸州との間に、政治的、社会的なつながりもできていった。一八九二年八月のある日曜の午後、二人の幸運な男が、クールガーディのある岩をまさかりで打ちわって、偶然にも得た五百オンスの金鉱が、今日の西部の運命をきめた。一九一七年には、中央沙漠を貫く大陸横断鉄道によって、東部と西部は結び合された。今では最新式の航空機が、パースと東部諸州の都市の間を、毎日往復している。

「西部」(西オーストラリア州はふつうこう呼ばれる)は、金以外にも、小麦、木材、羊毛、家畜、乳製品、果実などの生産地として有名である。また、最近開発された炭田と鉄鉱脈とは今後の工業的発展をも約束している。西北部の牧草地帯は、人口が稀薄なため、今なお開発の手が伸びていない。

西オーストラリア州

西部地方は，大部分を未開の沙漠が占めており，わずかに南西部の地中海型の氣候のところに都市が発達している．首都パースは，発達した地方の中心にある．背後にカルグーリなどの金鉱地帯をひかえるほか，小麦や果樹の生産地にも囲まれる．

→ パースのセント・ジョージ高台附近．附近には廣い原野をそのままに保存したキング公園がある．

↑ 南十字星(サザン・クロス)とよばれる町の南にある原野．パースと金鉱地帯をむすぶ沿線でもこのようである．奥地のさまが想像されよう．

← パース周辺のブドウ園．

← ジャラーとかカリーとか，ユーカリ種の木には堅い用材として尊ばれるものが多い．世界に輸出する．

← パースの百貨店のある街．

北部地方は、もともと南オーストラリア植民領の一部であったが、現在キャンベラの中央政府によって管轄されている。大陸の中央北部に横たわる六〇万平方マイル以上の廣大な地域であり、数年前日本で公開された映画「オーヴァランダー」は、オーストラリアのこの地方と、西部クインスランドで撮影された。その神祕に滿ちた風景を覚えている人もあろう。この地方は、長い海岸沿いの地域は熱帶性氣候であり、內陸は暑く乾燥している。そのため全オーストラリアで、もっとも開発のおくれた州である。集團的な居住地としては、ほとんど適当ではないであろうが、州の大部分は牧畜の好適地で、現在一、〇五二、八一一頭にのぼる家畜が飼われている。この地方には、約七万平方マイルの地域が、オーストラリア原住民のための指定地として準備されている。彼らは、人類学的には、現存人類中もっとも原始的な人種であり、賢明といおうか、近代文明に対してはあまり好意的に受け入れようという氣がまえをもっていないのである。

北端に位するダーウィンは、どう見ても小さい町であるが、今日ではヨーロッパ及びアジアから國際航空路でオーストラリアに入る入口の空港として、重要性をもっている。人口三千にみたない町が州で第一とは、日本のような人口の密集した國では考えられないが、北部地方は全人口が一万人余りしかないのである。しかも廣さは日本の三倍以上。人口密度は、ふつう一平方マイル当り何人と計算するものだが、こういう地方になると人間一人について土地が何平方マイルになるかを数えることになる。そしてこの州には、人口密度、八平方マイルにつき一人以上の地域は全くない。

北　部　地　方

↑ オーストラリアの中央部は，沙漠がひろがっている．北部と南部をつなぐ鉄道もまだ完成しないありさまである．警察は，飛行機からラクダに乗りかえてパトロールしなければならないが，航空路によって結ばれるいくつかの小さい町が散在する．

← 中部奥地のアリス・スプリングス．南部と北部の分水嶺をなす山地である．

← 1925年の探検者ウイルキンスは，北部の沙漠で，フォードの自動車をラクダに引いてもらう「屈辱」を書き残しているが，沙漠では今もこのような荒仕事が日常のことである．

← 道標のように立っているみごとな蟻の塔．白蟻は降雨をさけ木に巣を作る．

← 奥地に点在する湖沼の一．

内陸地方の一部に，3マイルにわたってわだかまる奇妙な岩塊の山がある．エイヤーズ・ロックとよぶ花崗岩の変化した岩塊で，最高の頂は1,100 ft.

↗ 内陸の沙漠とちがって，この岩のふもとは黒土であり，ユーカリ樹が茂る．
→ 岩の間は幽溪をなし，小さな湖をたたえている．
↑ 1,100 ft. の岩塊の頂上では，訪れた人々が自分の名を記してブリキ罐に入れ，上に石をつんでいる．
↖ 一面ハゲ山の頂上附近．
↖ 内陸地方に通っている鉄道の沿線．これがフィンクの停車場の光景である．
← ユーカリの一種 血木（ブラッド・ウッド）がある．木質も樹液も赤い．これは内陸地方で風車を利用して液を絞る所．

タスマニア州は、面積二六、二一五平方マイルの小さい島（北海道くらい）で、オーストラリアの東南端にある。ニュー・サウス・ウエルスと同様に、はじめ数年間は、受刑者の植民地であった。その後次第に小麦、乳製品、リンゴ、ホップ、亜鉛などの産地として発展した。この島は水が豊富で、その低廉な電力を利用できるところから、本土の工場が移ってきて、工業の発展をきたすようになった。

タスマニア島は、近代的な教育制度で名高い。すなわち、「地区学校」が設立され、その地方々々に特別の関係がある問題について、技術上の訓練をほどこすのである。たとえば、ホップの生産地帯では、生徒たちが、ホップ栽培に関する一切を研究している。

その他の領土　オーストラリアは、沿岸に散在する島嶼を多数「連邦領」として管轄している。中でも重要なのは、パプアの名でしられるニューギニアの東南部、及びその北東部、ニュー・ブリテン諸島、ニュー・アイルランド、その他である。これらは、以前の國際連盟委任統治領で、今は國連の信託統治領として管轄している。第二次大戦中、ニューギニアには悲惨な戦があり、オーストラリア軍は連合國のアメリカ軍とともに、この連邦の関門で日本軍をくいとめたのであった。オーストラリアが、日本の再軍備に批判的態度をとった理由は、一つにはこうしたことに対して警告したいからであった。これはけっして日本に対して必要以上に苛酷であろうとすることを意味しない。

いま、ニューギニアの原始的な原住民たちは、オーストラリア人から近代技術と科学について教育をうけており、オーストラリア人は彼らの信服をうけ、國連からも賞讃されている。

ホバート

タスマニアの名は，リンゴで世界に知られている．ビールのホップもこの島では，面積のわりにして世界一の収穫をあげている．島の北半分は農園，南半分は主としてリンゴ園で，首都ホバートは南端にある．ホバートは大陸からはなれてはいるが，シドニーに次いで古い都会である．オーストラリア大陸より早くこの島はタスマンによって發見され，古くから開拓された．

街の背後には4,166ft．のウエリントン山，前には美しい港がひかえている．街には前世紀の建物も多く残る．タスマニアの冬は，大陸よりははるかに寒く，ウエリントン山は雪につつまれるが，夏は避暑にもってこいの氣候．ホバートの附近には，しずかな別荘地帯がある．

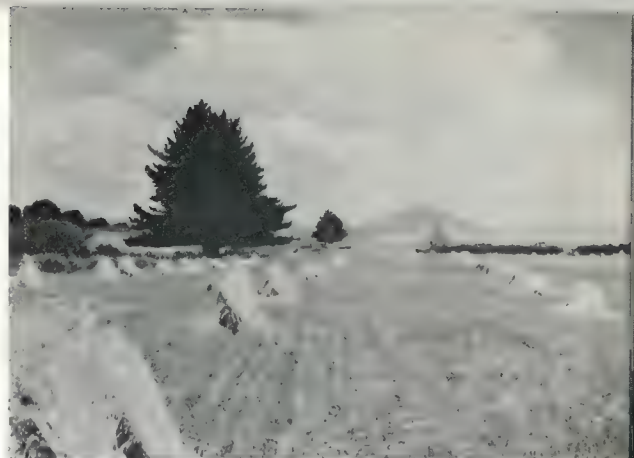
タ　ス　マ　ニ　ヤ

タスマニアはよく「小イングランド」とよばれる．イギリス人好みの美しい湖や小川や丘や，その間に展開する農耕地がみられる．北部から西部にかけては，オーストラリアでも最もゆたかな沃野があり，火力発電の発達は農，工業に寄與している．

↗➡ 北部地方の沃野．小麦，馬鈴薯，ホップ等が多い．

➡ 西部海岸の港と，鉱山とをつなぐ古風な鉄道．こう見えてもなかなか有力な仕事をはたしている．

⬆ 学校の休みを利用し，果実収穫のアルバイトにでかけようとする女学生．

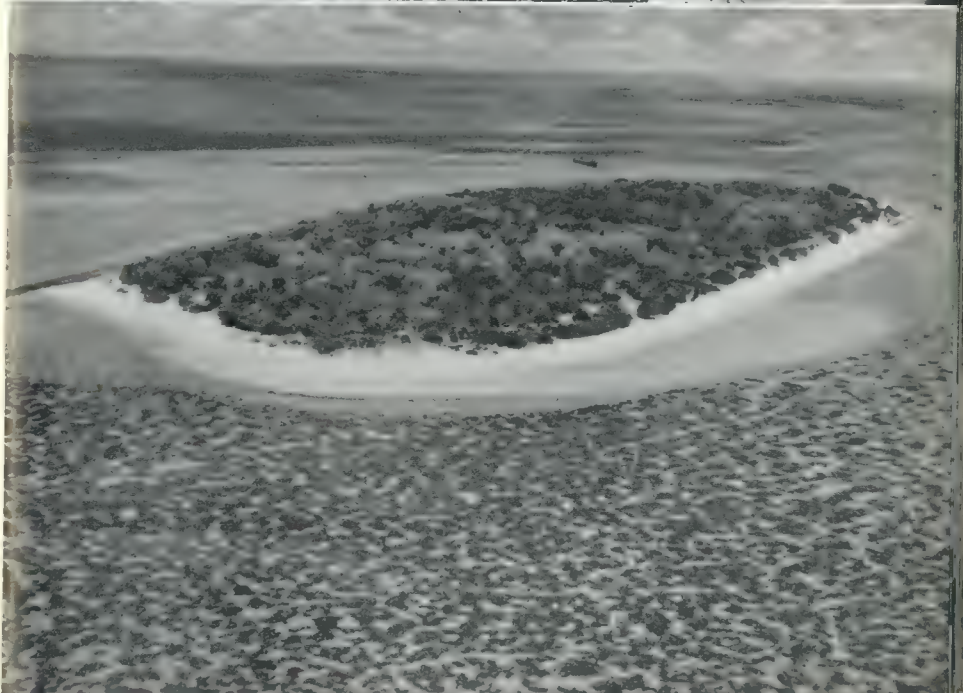
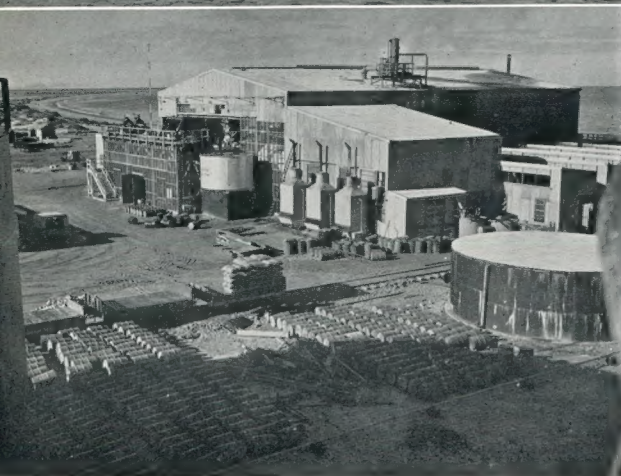
⬅ イギリス本國そのままの田園風景や溪流．島の東南端ポート・アーサー附近には，荒れはてた古い僧院の一部がみえている．かつてこの島が，大陸の一部かどうかもしらずに移民してきた人たちのなごりの一つでもあろうか．

島　　　　　　嶼

オーストラリア周辺の島島のうち，最もおおきいニューギニアは，太平洋戦争中日本軍が侵略し，マラリアでほとんどが全滅した未開の土地．島最大の都市モレスビーでさえ人口 3,000．護衛隊なしには旅行もできないといわれた國．今モレスビーから飛行艇が巡回し，郵便などもくばっている．

↑ その東にあるトロブリアンドの小島では，土人が海にもぐって眞珠をとる．

→ クインスランド州の東岸には大珊瑚礁がめぐっている．一部は立派なホテルがたち，上流の人々はシドニーから飛行艇で訪れ，休日を遊び楽しむ．

↑↓ これは反対に南極に近いハード島．メルボルンから 3,200 マイルの海上に，氷にとざされており，アザラシやペンギンが住む．

捕鯨

太平洋戦爭のおわるまで水産業は問題でなかった．有名だったのは木曜島や西部のブルームでの眞珠貝採集くらい．それも出稼の日本人労働者を雇って成立っていた．ところが最近，堂々たる捕鯨船がこの國にも生れ，1951年の捕鯨シーズンには1月に160頭の成績をあげた．1シーズンに600頭の成績を目標にしている．

➡⬅ カナーヴォン港にある貯藏タンクや，波止場風景．この港の名をとった捕鯨船カナーヴォンは世界でもっともモダンな捕鯨船．

↖↗ 南氷洋にあるマッコリー島のウアイアレス山．

オーストラリア人　圧倒的にイングランド、アイルランド、スコットランド系の多いオーストラリア人は、当然これらの人種の特性をうけついでいる。だが、環境の影響にしたがい、しだいに「オーストラリア・タイプ」ともいうべきものが生れてきた。ふつう、長身瘦せ型で、日焼けした顔には、半眼にとじた眼のあたりに、しわがよっているといった風。話しぶりはスローモーだが、なじみぶかくて、ごく率直。どんなことにも言いわけがましいことをせず、政治意識は旺盛で、みずからの権利を守るのには鋭敏。これが、オーストラリア・タイプと考えられているものであるが、こうした氣風の人は地方に住むものの場合が多く、それだけがオーストラリア・タイプとはいい切れない。全人口の三分の二以上が都市に住む以上、人口の小部分を占めるにすぎないこうした内陸人の性質は、都会人には欠けているからである。だが、都会人たると地方人たるとを問わず率直で弁解がましくない態度が、外國人の目につくであろう。こうした特性は、見方によってはいささか無作法で、投げやりなものと見られることもあるかもしれない。オーストラリア人は、長所と考えたがっているが、たいていの場合の長所と同じく、これも度をこえると、短所になりかねない。

概して、現代のオーストラリア人にとって、人生は困難なものではない。仕事の條件はめぐまれたものだし、太陽にめぐまれた氣候の下では、つい怠けて何時間も何時間も海岸で遊んだりとくいとするテニスやクリケットや、さては水泳といった、いろいろのスポーツにふけったりしがちである。ある意味で、世界から孤立して成長してきたオーストラリア人が、世界の諸〻の問題に眼をひらきだしたのはほんの最近のことといえよう。

オーストラリア人は‘基準賃金制’によって生活を保障されている．それは‘文化的生活を営む一般の被傭者の生活費を基準として，非熟練労働者に支拂るべき最低の賃金とされている．大体5人の家族が，合理的な快適な生活を維持できるのが文化的生活である．最低賃金といっても他國よりは高く，(1週9～10ポンド) 自動車こそ買えないが，生活は樂である．

→ クリスマスの買物でにぎわうシドニーの繁華街．

← メルボルンに近いテニス場．これは12月の試合．

← 長い歴史をもつスポーツの一つ，乗馬．夏は町にも村にもこうした光景をみる．後は彼らの幕営地．

← 州の山奥 4,000 ft 以上の高山に雪を求めて集まるスキーヤーの群．高山には4～5ヵ月間雪がある．

↑ 魚釣りに好適な山地の川．

岩波写眞文庫目録

既刊

1 木綿　2 昆虫　3 南氷洋の捕鯨　4 魚の市場　5 アメリカ人　6 アメリカ　7 雪の結晶　8 写眞　9 レンズ　10 紙　11 蝶の一生　12 鎌倉　13 心と顔　14 動物園のけもの　15 富士山　16 積雪　17 いかるがの里　18 鉄　19 川 —隅田川—　20 雲

21 汽車　22 動物園の鳥　23 様式の歴史 —西洋美術—　24 銅山　25 スイス　26 スキー　27 京都 —歴史的に見た—　28 力と運動 —目で見た力学—　29 アメリカの農業　30 アルプス —スイスの山と人—　31 山の鳥　32 奈良の大佛　33 尾瀬　34 電話　35 野球の科学 —バッティング—　36 星と宇宙　37 蚊の観察　38 長崎　39 高野山　40 正倉院 —一—

41 彫刻　42 佛像 —イコノグラフィー—　43 化学繊維　44 蛔虫　45 野の花 —春—　46 金印の出た土地 —北九州の歴史—　47 東京 —大都会の顔—　48 馬　49 石炭　50 桂離宮と修学院　51 日光　52 醤油　53 文楽　54 水辺の鳥　55 米　56 正倉院 (二)　57 石油　58 千代田城　59 歌舞伎　60 高山の花

新刊

62 京都御所と二條城

63 赤ちゃん

64 オーストラリア

再刊

19	川
27	京都
41	彫刻
59	歌舞伎

續刊

65	ソヴェト連邦	ソ連の過去と現在. 案外知られていない國の紹介.
66	能	能舞台と曲目, 型, 能面, 衣裳を解説した入門書.
67	造船	船が出來るまでの物語. 造船工業と, 新しい技術.

B6判　64頁　写眞平均　約 180 枚　各定價　100 円

北部のアリス・スプリングスとダーウィンをむすぶ街道. 行程 1,000 マイル. 世界一長い郵便のルート. 世界一さびしい謎にみちた風景がつづく.